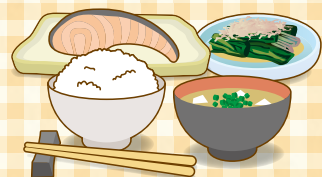


INFORMATION

セルフケアカレッジ

きょうの食事が未来につながる
お腹周りが気になりはじめたら



9/26(火) 19:00~入場無料

講師 管理栄養士 國吉華江



会場 大浜第一病院 ふれあいホール

※終了後、臨時シャトルバスが「クリニック安里」まで出ますので、ぜひご利用ください。

医療法人おもと会 大浜第一病院 TEL:098-866-5171

大浜第一病院特別演奏会 バイオリンコンサート

演奏曲目 葉加瀬 太郎 「情熱大陸」「エトピリカ」etc.



はやし ほうえい 林 峰栄 教員監/バイオリニスト

沖縄交響楽団コンサートマスター

演奏曲目

葉加瀬 太郎 「情熱大陸」「エトピリカ」etc.

場所

大浜第一病院 ふれあいホール

9月22日 13:00 (13:30終了予定)

沖縄交響楽団 第61回定期演奏会のお知らせ

2017/10/22 (日) 13:00開場 14:00開演

沖縄市民会館 (大ホール) にて

お問い合わせ: email/info@okikyuu.org TEL/050-3630-5943(瑞慶山)

笑顔 顔

スマイル

9月号 | 毎月1日発行 (第90号) 2017年9月1日(金)

発行 大浜第一病院 広報委員会

発行責任者: 大城 康一

〒900-0005 沖縄県那覇市天久1000番地 TEL:(098)866-5171 FAX:(098)864-1874 http://www.omotokai.or.jp/ohama1/



大浜第一病院HP

便失禁と

大腸・肛門外科



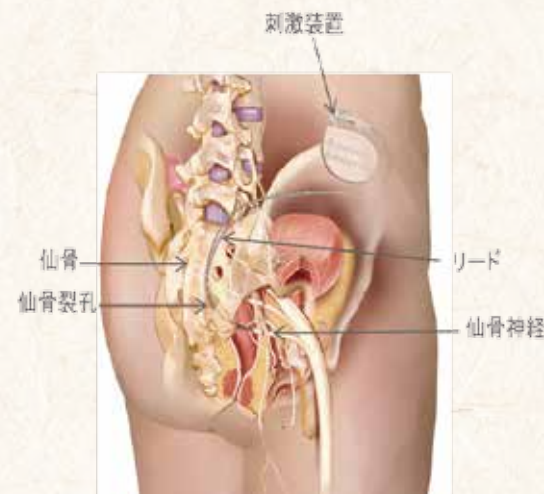
仕垣 幸太郎

仙骨神経刺激療法

「気がついたら下着が汚れていた」「便意を感じてからトイレまで間に合わなかった」... 便失禁はただ単に「便が漏れる」ということだけが問題ではありません。日常生活が制限される、家から外に出るのをやめ社会活動へ参加しなくなるなど、「生活の質」が低下

仙骨神経刺激療法

便失禁診療の流れ



- 初期診療: 問診視診・指診・画像診断, 食事、生活指導, 排便習慣指導薬での治療
専門的診療: 骨盤底筋群訓練 (骨盤底筋体操), バイオフィードバック療法, 仙骨神経刺激療法 (SNM)

治療は可能な限り身体への負担の少ないものから開始します。まずはお薬で排便のコントロールをします。他に直腸や肛門の動きのリハビリテーションを行うこともあります。肛門の周りには筋肉が損傷している方はこれを修復する手術を行います。これらの治療を行っても便失禁が改善しないこともあります。このような方には、肛門を締める神経を電気刺激することにより、便が漏れるのを防ぐという新しい治療法「仙骨神経刺激療法」が勧められます。この治療法は現在沖縄県では当院でのみで行うことができます。

大浜第一から全国へ! 情報発信 UPDATE

大浜第一病院では、当院で得た知見を積極的に全国学会や学術誌で報告し、医学・医療の発展、また一般の方々への啓発活動に寄与しています。

- 7月 第26回日本心血管インターベンション治療学会 (京都市) 前田 武俊 (循環器内科・医師)
第39回呼吸療法医学会学術集会 (東京都) 新崎 義人 (リハビリテーション科・理学療法士)
第72回日本消化器外科学会総会 (金沢市) 稲嶺 進 (外科・医師)
作業療法ジャーナル 7月増刊号 Vol.51 No8 2017 下里 綱
看護のチカラ 第22巻475号 7月15日号 津嘉山 みどり
ナースマネジャー 2017年7月号 津嘉山 みどり

医療法人おもと会 大浜第一病院
TEL (098) 866-5171
FAX (098) 864-1874
WEB http://www.omotokai.or.jp/ohama1/

編集後記 Text: 総務課 宮良
日の出ている時間もだんだん短くなり、沖縄も夏から秋へと季節が変わろうとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか?
これからの時期は、各地域でいろいろな祭りが開催されます。夕涼みをかねて、地域の祭りに出かけ秋を感じてみてはいかがでしょうか?



第21回

おもと会

# 合同研究発表会

大浜第一病院実行委員

嘉数 亮

去る7月22日(土)AN Aクラウンプラザホテルハーバービューにおいて「第21回おもと会合同研究発表会」が開催されました。今回は21演題(当院8演題)の研究発表がありました。当院大腸・肛門外科の仕垣幸太郎医師は、大腸肛門外科を開業し、県内初『仙骨神経刺激療法』を施行した実績報告に加え、診療外の活動報告、更には、質の高い大腸肛門外科外来の構築に向けた展望が発表されました。また、おもと会各施設・各分野から様々な職種の事例発表があり、グループならではの大きな学びの機会でありました。

# ゆんたく日和

精神科医 平山 雄也



この度2か月に1回の連載を担当することになりました。精神科医の平山雄也と申します。今回は初めましてということで、自己紹介をさせて頂きたいと思っております。

私は2017年4月から、この大浜第一病院も所属している「医療法人おもと会」の「このころと体のヘルスケアセンター」に勤務しております。当センターは文字通り「このころと体の健康をケアするセンター」なのですが、具体的にはおもと会の職員や学生\*1の仕事・勉強、心身の調子などの様々な相談を伺うこと、職員に向けての研修を開催すること、などが主なお仕事です。

手前味噌ですが、このようなセンターがある医療法人は全国を探してもなかなかないでしょう。「おもと会」は、患者様のことはもちろん、職員や学生のことも大事にする素敵な法人だと思っています。自己紹介に戻りましょう。私はこの大浜第一病院で2008年から初期臨床研修\*2を受けた後、内科医として診療に従事しております。その後、故郷九州の肥前精神医療センターで精神科医と

しての研修・診療と、精神科・心療内科クリニックでの診療を経験し、再び沖縄、そして「おもと会」に戻って参りました。

突然ですが、私は20歳頃に対人恐怖症(現在は社交不安症などと呼ばれます)という、人と接するときや人に強く緊張すること、その緊張自体や、人と接する場面に對しての「不安」が強くなることで、社会生活に大きな不具合を感じるような病気になりました。そしてこの病気になったことが、工学部の大学院に通っていた23歳の時に医師を志す「決断」をすること、医師としての勉強や仕事と併せて学んだ「ハコミセラピー」という心理療法との「出会い」の、大きなきっかけとなったのです。

次回以降、その辺りの詳しいお話や、自身の病気の体験や心理療法、精神科医としての診療の中で培った「案に楽しく生きるためのこのころや考えの持ちよう」などなどについて、書いていきたいと思います。

最後まで読んで頂きありがとうございます。また2か月後に「笑顔」でお会いしましょう！

\*1 沖縄看護専門学校、沖縄リハビリテーション福祉学院  
 \*2 医師が診療に従事するために受けなければならない、内科・救急・地域医療・外科など様々な診療科での2年間の研修

## セルフケア・カレッジ

平成29年7月25日(火)

# 意外と？ 身近な心臓手術

医師 岡田 祥一



心臓の手術と聞くとまず「怖い」という印象を抱いている方が多いのではないのでしょうか。医師に手術を勧められたものの、現在症状がそれほど重くはないからと先送りしてしまっている人も少なくないと思われます。

こういう人のために、まず心臓の病気というのはどういうものがあるのか。そしてそれらの疾患はどう治療されるのか。最後に心臓手術というのは皆様が思っているより案外身近で、驚くほど安全なのだということを具体例などを交えた講演が行われました。

## 医療の現場を 見てみよう!

夏休み期間、小学生20名の職場見学を受け入れました。主に職員のお子さんで、病院で働くいろいろな仕事を実際に見て体験してもらいました。お父さん、お母さんの働く姿を見て、仕事を持つ親への理解を深め、自身の将来を考える際の職業選択の一助になれば幸いです。



Vol.03 Medical equipment

意外と知らない?

# 医療メカ

ジェネレーター

# GEN11

ジェニレブ

超音波の力で  
安全な手術を!

皆さん、はじめまして。私はジョンソン&ジョンソン社製 GEN11 という装置です。手術というメス(今はナイフと呼びます!)で切って針と糸で縫って、というイメージが強いかもしれませんが、現在では新しい方法が様々な活用されます。私は手術の際に超音波の力で組織を切り、止血や凝固を同時に行う事が出来ます。出血の危険性が高い臓器でも手術が早く、安全に実施できる利点があります。他にも超音波手術装置の仲間には色々居ますが、私の特徴は機械の先端の種類が沢山あることです。だから様々な先生と仕事が出来ます。当院では2台の GEN11 が特に婦人科と外科の先生と傷の小さな手術で活躍しています。

